

酒々井町の地域学校協働活動について

取組の概要

平成18年の教育基本法の改正に伴い学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力の規定が新設され、平成23年度からは学校教育を支援する学校支援地域本部事業が全国的に開始されています。平成27年の中央教育審議会における答申において、従来の学校支援地域本部等の活動を基盤とした「地域学校協働本部」の整備等が提言されました。

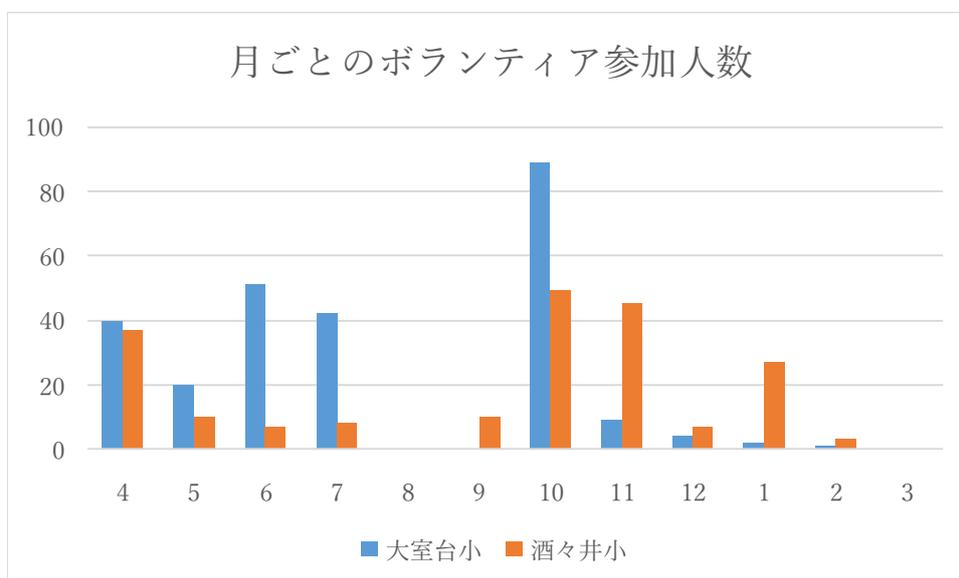
酒々井町の地域学校協働活動の取組は地域学校協働本部、酒々井中学校地域未来塾、酒々井町放課後子ども教室、こども青樹堂、家庭教育支援があります。

地域学校協働本部

町内の全小中学校に地域学校協働本部が設置されています。

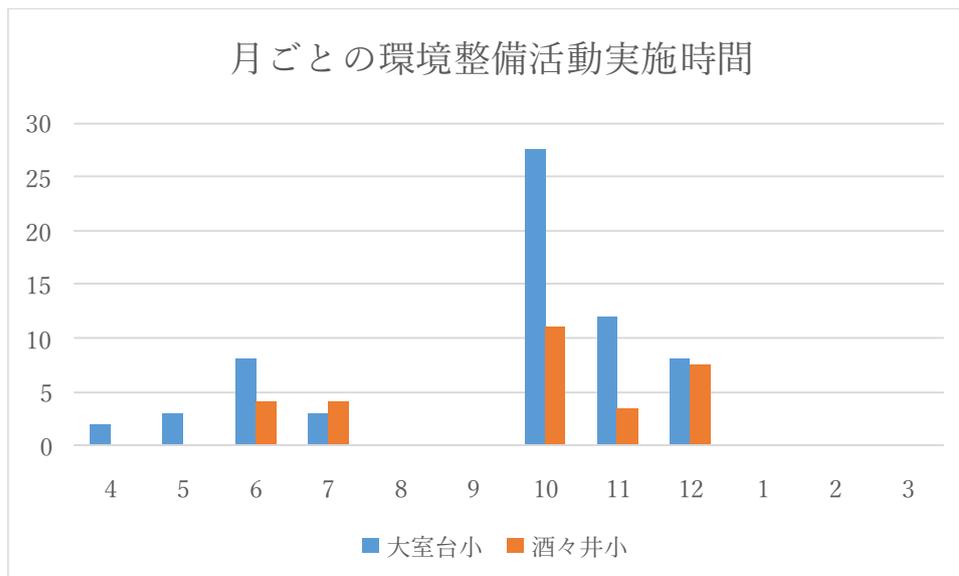
<各学校の主な活動>

- ・大室台小学校：新1年生下校付き添い、プール監視、ミシンボランティア、図書ボランティア、ビオトープボランティア
- ・酒々井小学校：新1年生下校付き添い、ミシンボランティア、図書ボランティア
- ・酒々井中学校：グラウンドの草取り



グラフ 1

大室台小学校と酒々井小学校の4月から3月のボランティアの参加人数をグラフ1にまとめました。ボランティアの延べ人数は、大室台小学校266人、酒々井小学校205人になります。1か月あたりのボランティアの平均人数は、大室台小学校が29人、酒々井小学校が20人、両校合わせると24人でした。



グラフ 2

大室台小学校と酒々井小学校の4月から3月の環境整備活動を実施した時間数をグラフ2にまとめました。年間の合計時間は、大室台小学校63.5時間、酒々井小学校30時間です。大室台小学校の時間数が大きくなる理由は、定期的にビオトープ整備作業を実施しているためです。1か月あたりの環境整備活動実施の平均時間は、大室台小学校が9時間、酒々井小学校が6時間、両校合わせると7.5時間でした。

<次年度以降の課題と対応>

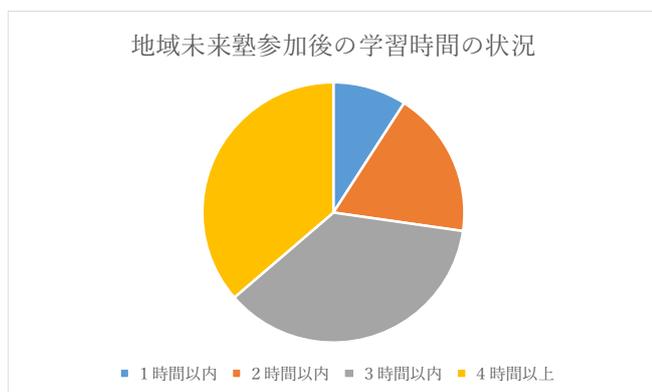
- ・ボランティアが、年々、減少傾向にあるため、酒々井町ホームページやSNS等を活用して広く募集していきます。
- ・PTA等の学校と関わる団体との連携を検討します。
- ・酒々井中学校の活動の活性化を検討します。

酒々井中学校地域未来塾

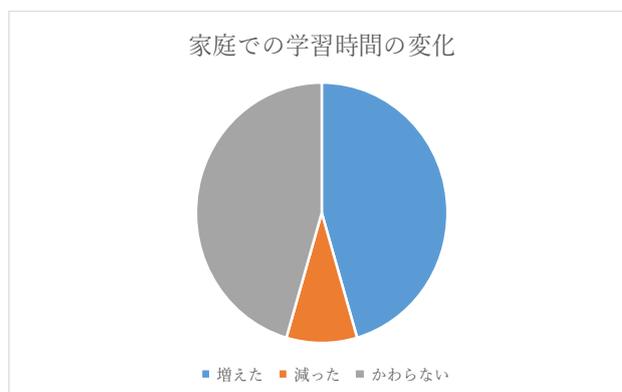
酒々井中学校の生徒に英語と数学の自主学習の支援を年間30回程度実施しています。

令和4年度までは酒々井中学校の空き教室で実施していましたが、令和5年度から酒々井町中央公民館で実施しています。会場変更に伴い、参加率が改善しました。

(令和4年度：26% 令和5年度：41%)



(グラフ3)



(グラフ4)

参加者にアンケート調査を実施し、グラフ3に地域未来塾参加後の1週間あたりの家庭での学習時間の状況、グラフ4に地域未来塾参加後の家庭での学習時間の変化を表しました。家庭で1週間あたり4時間以上学習をする生徒の割合は36%、家庭での学習時間が増えた生徒の割合は45%でした。地域未来塾の実施が、学習への動機づけのきっかけになっている可能性があります。

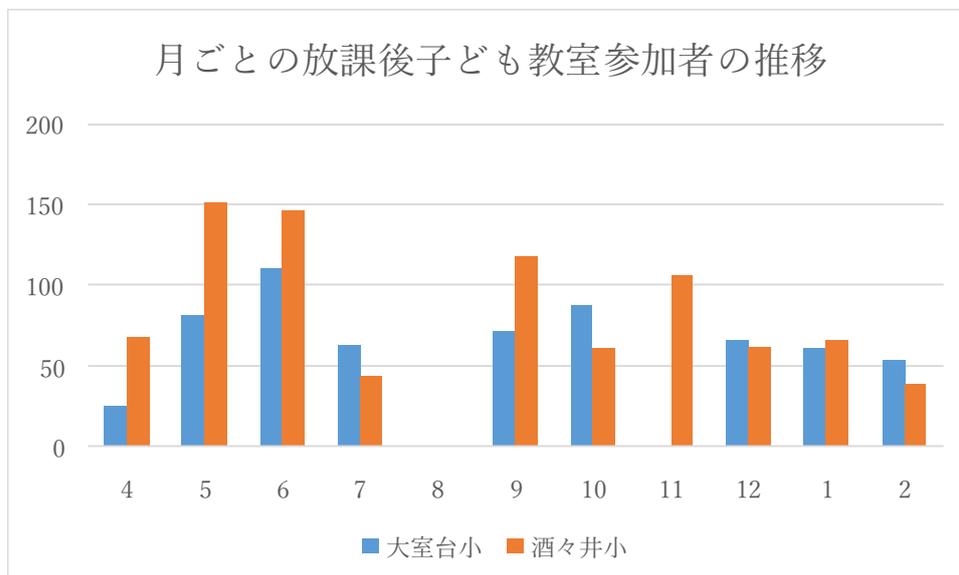
<次年度以降の課題と対応>

- ・特別授業等の実施を検討します。
- ・定期テストの前にとくに学習機会を設けていきます。
- ・参加生徒と学習支援員とのコミュニケーションにより、生徒が成長するきっかけをつくれます。

酒々井町放課後子ども教室

平成19年度から小学校2校で、1週間に1日、平日の放課後に実施しています。

地元の大学生や地域住民の方の協力を得て運営しており、各小学校に設置されている放課後児童クラブ（学童）の子どもも自由に参加できる体制で運営しています。



グラフ 5

令和5年4月から令和6年2月までの参加者の状況をグラフ5にまとめたところ、日照時間の長い春季、夏季、秋季の参加者が多く、日照時間の短い冬季の参加者が少なくなる傾向があることがわかります。なお、7月の参加者数が少ない原因は、実施に日数が両校合わせて3日しかなかったことが考えられます。また、夏休みは、放課後子ども教室を実施していないため、各校とも参加者はいません。実施日がある月の1日あたりの参加者数の平均を出したところ、6月が42人（最大値）、2月が23人（最小値）でした。

のべ実施日数	46日
のべ参加者数	1,481人
1日あたりの平均参加人数	32人/日
1か月あたりの平均参加者数	148人/月

令和5年4月から令和6年2月までの実施日数、参加者数、1日あたりの平均参加者数、1か月あたりの平均参加者数は、上記のとおりです。

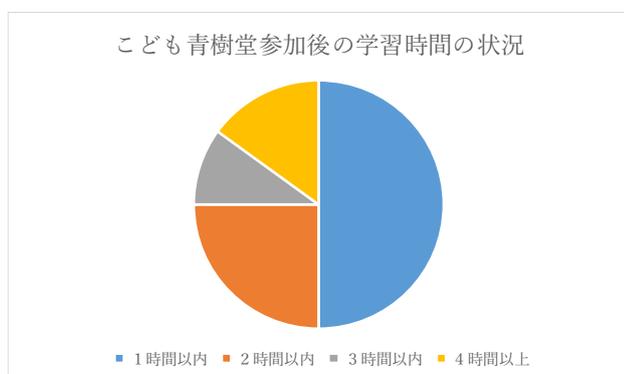
<次年度以降の課題と対応>

・平日に実施する放課後子ども教室は、誰でも自由に参加でき、また放課後児童クラブに在籍している児童も参加できるため、多くの児童が参加しています。実施するプログラムをより充実させていくことやねらいを明確化していくことで、効果的な教育活動を展開できる可能性が高いものです。

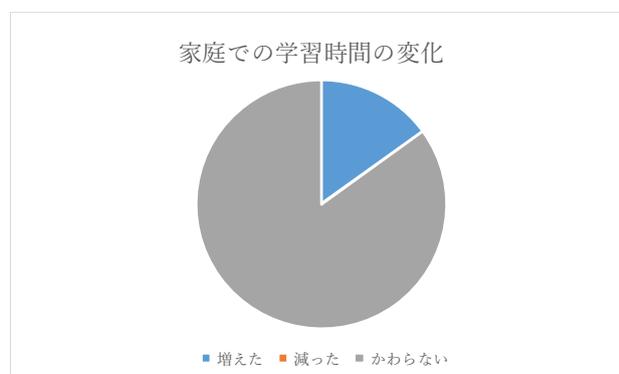
こども青樹堂

3・4年生を対象にした教室を平成22年度から、5・6年生を対象にした教室を平成26年度からそれぞれ実施しています。

酒々井町中央公民館を拠点に年間15回程度の講座を土曜日の午前中にそれぞれ実施しています。



(グラフ6)



(グラフ7)

参加者にアンケート調査を実施し、グラフ6にこども青樹堂参加後の1週間あたりの家庭での学習時間の状況、グラフ7にこども青樹堂参加後の家庭での学習時間の変化を表しました。1週間あたり4時間以上学習する児童の割合は15%あり、家庭での学習時間が増えた児童の割合は15%でした。地域未来塾のアンケート結果と比較すると増加率が緩やかな状況でした。

<次年度以降の課題と対応>

- ・毎回、学習のはじめに実施している総合学習の内容の充実を図ります。
- ・公民館で実施する利点を活かし、子どもの知的好奇心を刺激する活動を企画します。
- ・学校と連携して、参加者の増加に努めます。